



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堤 殷

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 及川 雅晴

TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	149,437	2.1	11,216	10.0	11,724	10.7	6,264	12.6
23年3月期第2四半期	146,374	5.0	12,454	21.6	13,128	20.1	7,169	25.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,611百万円 (24.7%) 23年3月期第2四半期 2,897百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	61.31	
23年3月期第2四半期	70.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	233,729	175,637	70.9
23年3月期	232,532	172,807	70.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 165,641百万円 23年3月期 163,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		20.00		20.00	40.00
24年3月期		20.00			
24年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	312,000	2.0	24,000	7.0	25,000	8.1	14,500	16.8	141.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	110,881,044 株	23年3月期	110,881,044 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	8,712,769 株	23年3月期	8,709,183 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	102,170,042 株	23年3月期2Q	102,181,838 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産活動の正常化や個人消費の改善により震災からの回復傾向がみられるものの、急激な円高・株安や海外景気の減速により景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は149,437百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益は11,216百万円（前年同四半期比10.0%減）、経常利益は11,724百万円（前年同四半期比10.7%減）、四半期純利益は6,264百万円（前年同四半期比12.6%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、76.65円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、83.80円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、欧米やロシア・中国等の新興国の水産品需要が強く、また、海老・マグロ等の輸入水産品の水揚げ減少により価格が上昇し、円高傾向にも関わらず利益を押し下げる要因となりました。国内販売においては、消費者の低価格志向が強く、厳しい環境が続きました。このような状況の中、当社の得意商品の鮭鱒等を中心に商品開発・販売を積極的に行った結果、売上高は14,987百万円（前年同四半期比6.0%減）、セグメント利益は496百万円（前年同四半期比66.3%増）となりました。

海外即席麺事業は、当第2四半期後半から値上げを実施いたしました。前年から引き続き積極的な販売活動を行った結果、販売数量は大幅に増加いたしました。円高の影響もありましたが、この結果、売上高は25,421百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。一方、前年からの世界的なコモディティー価格の上昇の影響により、主原材料・運賃等のコストが増加し、さらに円高の影響も加わり、セグメント利益は2,737百万円（前年同四半期比35.4%減）となりました。

国内即席麺事業は、新製品の発売延期や販売促進活動の中止等震災の影響はありましたが、「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」に代表される和風麺や「麺づくり」等の主力品を中心に、順調に売上を伸ばしました。また、新製法を採用した「昔ながらのソース焼そば」も好調で、焼そば類全体の実績を牽引いたしました。袋麺においては、好調な商品もありましたが、前年並みの実績となりました。これらの結果、売上高は45,063百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。セグメント利益は、主力品の売上が寄与し、4,450百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

低温食品事業は、生麺は、震災の発生以降市場環境に変化が見られ、節電対策を契機に手軽に調理できる主力品の3食焼そば類が伸びましたが、冷ラーメン類が振るわず、前年を下回る結果となりました。冷凍食品類は、震災による売上低迷から徐々に回復基調がみられるものの、未だ前年には達せず減収となりました。この結果、売上高は33,260百万円（前年同四半期比1.0%減）、セグメント利益は2,095百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

加工食品事業は、米飯製品の製造工場が震災で被災し減収となりました。フリーズドライ製品や魚肉ハムソーセージ、調味料等は前年並みに推移いたしました。この結果、売上高は7,842百万円（前年同四半期比14.4%減）、セグメント利益は237百万円（前年同四半期比19.9%減）となりました。

冷蔵事業は、前年からの積極的な営業活動により全国的に取り扱い商品が増加いたしました。震災の影響により東北地方の商品が各地区に流出したことや、夏の節電対策の影響により取引先が季節商品の備蓄在庫を増加させたため在庫が高い水準で安定し、保管料、入在庫料収入ともに前年を上回りました。また、第1四半期連結会計期間より埼玉東洋(株)、湘南東洋(株)及びスルガ東洋(株)を連結の範囲に含めました。これらの結果、売上高は7,594百万円（前年同四半期比16.3%増）、セグメント利益は649百万円（前年同四半期比83.5%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は15,279百万円（前年同四半期比10.6%増）、セグメント利益は962百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、前連結会計年度と比べ総資産は1,197百万円増加し233,729百万円、純資産は2,829百万円増加し175,637百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に有価証券、建物及び構築物、受取手形及び売掛金が減少し、現金及び預金、商品及び製品が増加しました。負債は、主に未払法人税等が増加し、短期借入金、未払費用が減少しました。純資産は、主に為替換算調整勘定が減少し、利益剰余金が増加しました。

この結果、自己資本比率は70.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ964百万円(1.7%)増加し、56,916百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ4,146百万円(29.6%)減少の9,856百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加、税金等調整前四半期純利益の減少により資金が減少したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ1,368百万円(24.1%)減少の4,309百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が減少したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ193百万円(7.2%)増加の2,887百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が減少した一方、短期借入れによる収入の減少、短期借入金の返済による支出の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関する事項につきましては、当第2四半期の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成23年5月13日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2 . サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,648	38,375
受取手形及び売掛金	39,785	38,506
有価証券	23,000	20,000
商品及び製品	11,965	14,675
仕掛品	192	317
原材料及び貯蔵品	4,010	3,905
繰延税金資産	1,925	2,077
その他	3,719	3,109
貸倒引当金	524	521
流動資産合計	118,724	120,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,478	41,178
機械装置及び運搬具(純額)	22,670	22,017
土地	28,646	28,481
建設仮勘定	332	2,022
その他(純額)	1,371	1,275
有形固定資産合計	95,499	94,976
無形固定資産		
のれん	20	-
その他	1,706	1,674
無形固定資産合計	1,727	1,674
投資その他の資産		
投資有価証券	14,160	14,189
繰延税金資産	1,523	1,527
その他	898	915
貸倒引当金	1	0
投資その他の資産合計	16,581	16,632
固定資産合計	113,808	113,283
資産合計	232,532	233,729

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,904	19,057
短期借入金	1,945	269
1年内返済予定の長期借入金	52	38
未払費用	15,848	14,571
未払法人税等	2,747	3,936
未払事業所税	70	31
未払消費税等	1,104	341
繰延税金負債	0	15
役員賞与引当金	101	124
その他	1,221	2,072
流動負債合計	41,995	40,459
固定負債		
長期借入金	12	-
繰延税金負債	890	814
退職給付引当金	15,051	15,383
役員退職慰労引当金	118	118
負ののれん	526	450
資産除去債務	308	309
その他	823	555
固定負債合計	17,729	17,633
負債合計	59,725	58,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	144,769	150,240
自己株式	8,111	8,118
株主資本合計	178,143	183,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	432	76
繰延ヘッジ損益	168	69
為替換算調整勘定	14,755	17,974
その他の包括利益累計額合計	15,018	17,967
少数株主持分	9,682	9,996
純資産合計	172,807	175,637
負債純資産合計	232,532	233,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	146,374	149,437
売上原価	91,510	95,362
売上総利益	54,863	54,075
販売費及び一般管理費	42,409	42,858
営業利益	12,454	11,216
営業外収益		
受取利息	69	68
受取配当金	182	158
持分法による投資利益	19	6
賃貸収入	219	209
雑収入	355	302
営業外収益合計	845	745
営業外費用		
支払利息	10	4
賃貸収入原価	32	48
為替差損	62	113
雑損失	65	70
営業外費用合計	170	237
経常利益	13,128	11,724
特別利益		
固定資産売却益	13	6
貸倒引当金戻入額	41	-
補助金収入	25	-
その他	8	5
特別利益合計	87	12
特別損失		
固定資産除売却損	255	113
投資有価証券評価損	8	491
災害による損失	-	122
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	254	-
減損損失	290	8
その他	17	7
特別損失合計	826	743
税金等調整前四半期純利益	12,389	10,993
法人税、住民税及び事業税	5,003	4,479
法人税等調整額	128	51
法人税等合計	4,874	4,427
少数株主損益調整前四半期純利益	7,515	6,565
少数株主利益	345	301
四半期純利益	7,169	6,264

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,515	6,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	565	491
繰延ヘッジ損益	834	238
為替換算調整勘定	3,192	3,219
持分法適用会社に対する持分相当額	24	12
その他の包括利益合計	4,618	2,954
四半期包括利益	2,897	3,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,562	3,314
少数株主に係る四半期包括利益	334	296

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,389	10,993
減価償却費	5,064	4,762
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	254	-
減損損失	290	8
災害損失	-	122
のれん償却額	25	20
負ののれん償却額	75	75
持分法による投資損益(は益)	19	6
投資有価証券評価損益(は益)	8	491
退職給付引当金の増減額(は減少)	298	99
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2	16
役員賞与引当金の増減額(は減少)	151	15
貸倒引当金の増減額(は減少)	30	2
受取利息及び受取配当金	251	227
支払利息	10	4
為替差損益(は益)	62	113
有形固定資産除売却損益(は益)	242	106
売上債権の増減額(は増加)	2,056	1,266
たな卸資産の増減額(は増加)	542	2,863
仕入債務の増減額(は減少)	44	248
未払費用の増減額(は減少)	2,109	766
その他	588	1,096
小計	18,153	13,200
利息及び配当金の受取額	250	227
利息の支払額	11	4
災害損失の支払額	-	625
法人税等の支払額	4,390	2,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,002	9,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,453	196
定期預金の払戻による収入	136	336
有形固定資産の取得による支出	4,044	4,278
有形固定資産の売却による収入	36	45
無形固定資産の取得による支出	256	225
投資有価証券の取得による支出	20	8
投資有価証券の売却による収入	18	-
貸付けによる支出	1,111	1,132
貸付金の回収による収入	994	1,153
その他	23	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,677	4,309

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	985	616
短期借入金の返済による支出	918	1,272
長期借入金の返済による支出	26	26
配当金の支払額	2,554	2,043
少数株主への配当金の支払額	131	103
その他	48	58
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,694	2,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,108	1,734
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	3,522	924
現金及び現金同等物の期首残高	46,545	55,952
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	39
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,067	56,916

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客に 対する売上高	15,950	23,911	43,008	33,605	9,160	6,530	132,165	13,815	145,980	393	146,374
セグメント 利益	298	4,239	4,044	2,531	296	354	11,764	947	12,712	258	12,454

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。
- 2 売上高の調整額393百万円は、報告セグメントと財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額 258百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 372百万円、棚卸資産の調整額28百万円及びその他の調整額85百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客に 対する売上高	14,987	25,421	45,063	33,260	7,842	7,594	134,170	15,279	149,449	12	149,437
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	373		0		0	469	843	266	1,110	1,110	
計	15,361	25,421	45,064	33,260	7,843	8,063	135,014	15,545	150,559	1,122	149,437
セグメント 利益	496	2,737	4,450	2,095	237	649	10,668	962	11,630	413	11,216

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。
- 2 外部顧客に対する売上高の調整額 12百万円は、報告セグメントと財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額 413百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 650百万円、棚卸資産の調整額 29百万円及びその他の調整額266百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価する際、セグメント間の内部売上高又は振替高についても定期的に検討を行うこととしたため、報告セグメントごとの売上高の金額に、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めております。

当該変更後の前第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客に 対する売上高	15,950	23,911	43,008	33,605	9,160	6,530	132,165	13,815	145,980	393	146,374
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	383		1		30	526	940	214	1,155	1,155	
計	16,333	23,911	43,009	33,605	9,190	7,056	133,106	14,029	147,135	761	146,374
セグメント 利益	298	4,239	4,044	2,531	296	354	11,764	947	12,712	258	12,454

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。

2 外部顧客に対する売上高の調整額393百万円は、報告セグメントと財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額 258百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 372百万円、棚卸資産の調整額28百万円及びその他の調整額85百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した埼玉東洋(株)、湘南東洋(株)及びスルガ東洋(株)を連結の範囲に含めております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金が1,412百万円増加しております。